

兵庫県立芦屋国際中等教育学校

ミッション概要

目次

ミッションの紹介-----P2

缶サットの構造-----P3

気圧計算式

海拔2000m以内では10m
上昇するごとに気圧が
111Pa減少することから
1mごとの減少量は11.1Pa
すなわち0.111Paである
高度 $h(m)$ 、
基準面気圧 $p(hPa)$ 、
最低気圧 $q(hPa)$ の関係は
 $h=(p-q)/0.111$

メインミッション

缶サットに気圧センサーを積み、発射前の気圧と最低気圧から缶サットの到達高度を推測する

そして、市販の高度計でその結果を確かめる

普段の部活を通して、水ロケットやモデルロケットを製作しています
製作したロケットを発射させた際の最高到達点について調べることができる

サブミッション

ロケットのリカバリーシステムの成功放出と安全にリカバリーする

ロケット本体と中に搭載している機器等にできるだけダメージを与えずに接地させることを目標にしています。

ごく基本的な事ですが、安全な活動を確保するための大切なことです。
もちろんこれも水ロケットやモデルロケットに応用できます。

缶サットの構造

